

事業所等ヒアリング結果

調査時期：令和4年6月

調査対象：児童発達支援センター5ヶ所、放課後等デイサービス3ヶ所

1. 家族から受けた主な相談内容

- ・相談窓口（どこに相談していいか分からない。具体的な窓口を教えてほしい。相談してもサービスに繋がらないことが多い。）
- ・就学前（保育所や幼稚園の受け入れ先がない）
- ・通学支援を実施してくれる事業所が見つからない。
- ・レスパイト先（病気やきょうだいの学校の行事などで一時的に預かってくれる事業所がない。）

2. 医療的ケア児支援における課題

- ・困っていることに対する相談窓口がない。
- ・受けることができるサービスの情報が分からない。
- ・医療的ケア児を受入れ可能な保育所、幼稚園が少ない。介護者が個々に探すしかなく、情報がない。
- ・就学する際の学校側の受入れ体制（学校看護師の確保等）
- ・学校看護師の人材育成。
- ・動ける医療的ケア児を受入れ可能な事業所が少ない。
- ・緊急時に受入れ可能なレスパイト先（ショートステイ）の医療機関が少ない。
- ・年齢があがるにつれて、通える場所がなくなってくる。

事業所等ヒアリング結果

調査時期：令和4年6月 調査対象：児童発達支援センター5ヶ所、放課後等デイサービス3ヶ所

3. 医療的ケア児支援センターに求める役割

- ・医療的ケア児を受け入れることが可能な事業所、保育所、幼稚園などの情報を共有してほしい。
- ・困難事例を共有してほしい。事業所の看護師や相談支援専門員、職員が相談できるようにしてほしい。
- ・利用者に情報共有を行うハブ機能としての役割を担ってほしい。
- ・医療的ケア児の家族同士が交流できる場所を提供してほしい。

4. 医療的ケア児支援センターの求める研修

- ・吸引・導尿などの医療的技術の向上研修。
- ・それぞれの困難事案を解決することができる研修。
- ・医療的ケアや障がいに対する実践的な研修。

5. 主な介護者の就労状況

- ・全体の約3割の介護者が就労していた。医療的ケア児が学校やサービスを利用している短い時間に就労する方が多かった。
- ・就労していない介護者の中には、就労を希望したにもかかわらず、保育所や幼稚園の受け入れ先が見つからず、就労できていない方が多かった。
- ・医療的ケアが分かったことで会社を辞める方もいた。